

第274回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所 吉田小学校 校長 領家 芳明  
参加者数 15名 教頭 河野 直樹

<b>1、代表世話人挨拶 山崎純</b>
今年最後の掃除の会をこちら吉田小学校でできますこと
ありがとうございます。今日は特に寒くもなく掃除のしやすい朝になりました。全国でこの時間掃除活動をされている所がいくつあると思いますが、こうして仲間と一緒に続けていけます。皆さんの力を借りて継続していきたいと思えます
明日子供さんが来られてトイレがきれいになったと感じ喜んで頂けると嬉しいですね。今日も頑張って掃除をしましょう
<b>2、体験感想発表</b>
久しぶりに吉田小学校にきて、玄関までトイレを懐かしく思っています。吉田小のときは2年生の担任をしていて今日はトイレ掃除で恩返しできました。参加された先生も新しい方がおられ喜んでます。また機会があれば参加したいと思っております
<b>・岡本 昇太さん(浜田市・キヌヤ)</b>
今日は男子トイレの大便器でしたが、汚れも少なくむしろ床が特に隅が汚れがこびりついていて、そこを綺麗にしました
<b>・岩崎 真人さん(中吉田小教諭)</b>
自分の子供もこの学校に居ますし、毎日トイレを回って臭いがあるのを感じてましたが、掃除が終わって綺麗になり臭いもなくなり、明日の朝子供の反応が楽しみです
<b>・領家 芳明さん(吉田小学校校長)</b>
今日はありがとうございました。私は多分5回目の参加になります。しかし掃除のやり方は分かっているけど、まだ綺麗になりません。明日は2年生の子供達がトイレを見てどんな反応をするかが楽しみです。

<b>2、体験感想発表</b>
<b>・森 宣雄さん(キューサイファーム島根)</b>
今日は久々にトイレに手を入れるのを躊躇しました。特に内側の汚れが取れなくて、見えない所がきれいにできず心残りです
<b>・末松 史奈さん(吉田小学校教諭)</b>
昨年に続いて2回目の参加です。昨年2年生を担当していた子供達がトイレがきれいになって喜んだことを思い出します。今年は少しだけ満足にきれいにならずやや心残りです
<b>・池田 孝央さん(吉田小学校教諭)</b>
2年生を担当しておりますが、普段からトイレが臭く匂っていて、教室の中まで臭いが来るような状態でしたが、今日の掃除で臭いが取れて嬉しくなりました。明日子供達に地域の皆さんと掃除をしたことを話したいと思えます
<b>・松崎 純次 さん(益田市・キヌヤ)</b>
こちらの吉田小学校には1年と3年の孫が通っていますし、岩崎先生は実は私の娘婿です。彼には今まで声をかけておりましたが中々参加できず今日は良かったです。掃除は久しぶりにきれいになったと思います
<b>・青木 邦江さん(益田市)</b>
今年4～5回参加していると思います。私はいつも便器しかないのでいつも稲元さんに点検をお願いしております。掃除をして綺麗になるといいことが起きる。最近読んでいる「龍体文字の奇跡」にそんなことも書かれておりますので、皆さんもぜひ読んでください
<b>・佐々木 昇さん(浜田市)</b>
20年以上掃除に益田に通っていますが昨年車の免許を返納して今は自由がきかない状態です。でも掃除を頑張って続けたいと思えます
<b>・美原 喜大さん(萩市)</b>
先回の時に今日参加できないと言った自分に不安を持っています

<b>4、鏗山秀三郎相談役 一日一話より抜粋</b>
<b>苦境時の心構え</b>
人も企業も、一直線上で伸びるということはまずありません。必ず停滞する時があります。時には落ち込むこともあります。そんな時どういう心構えで過ごすかが大切なポイントです。「工夫次第」「自分次第」と言う考え方は、心構え次第で、人生も企業も良くなったり悪くなったりします。
<b>日本の評価</b>
かつて、右肩上がり経済が伸びていたころ、日本に対する世界の評価はどういうものであったか。「ただ金持ちになったエコノミックアニマル」と評判されていました
再びそのような批判を浴び無い為には、この厳しい時期をしっかりと受け止め本当の力を蓄えていくことだと思います。そうすれば、再評価される時が必ずきます。
<b>5、森信三先生の教え 一語千鈞より</b>
<b>生き方の基本</b>
・上位者にたてつくことを以って、快とする程度の人間は、とうてい「大器」には成れない
・全ての上位者に対しては、その人間の価値いかに拘らず、唯その位置が自分より上だという故で、相手の地位相応の敬意を払わねばならぬ
・目下の人に対する心得の一つは、目下の人だからと言って、言葉遣いをぞんざいにしないように……ということでしょう
・だいたい人間の手柄と言うものは、その人が目下の人に対する場合の態度特に言葉づかいによってわかるものです
<b>6・平澤 興先生語録より</b>
<b>生きよう今日も喜んで</b>
・人間は大自然より生まれて大自然に帰る。原素になり、それから大自然の創造に参加するのである
・生老病死を四苦というのが、私にとってはそれは四苦ではなく、四喜である
・子供を産むための苦しみ、それは大自然から与えられた不思議な力であり、その力によって新しい命が生まれる
このことは科学的、宗教的に観ても宇宙の中でこれ以上尊いものはない。人間が生まれるということ、個の不思議さに
比べると生むための苦しみなどと言うものは、考え方によっては、むしろ苦しみではなく大きな喜びである。大きな感謝である